





八戸藩御領内小絵図（八戸市立図書館所蔵）：山形村は廃藩置県（明治4年）まで八戸藩の統治下にあった。



# 八戸藩御領内絵図

八戸藩御領内絵図（八戸市立図書館所蔵）

# 八戸藩勘定所日記



山形村は八戸藩に属していたため、  
八戸藩の古文書によく登場する。  
(八戸市立図書館所蔵)

正徳五年五月二十九日：  
久慈嶽山開発願いが許可  
となる。



寛延二年三月十七日：不作の上猪  
荒につき、雑穀・仕付銭・味噌の  
拝借を荷軽部・川井・日野沢村な  
どより願い出る。



# 木地谷家文書

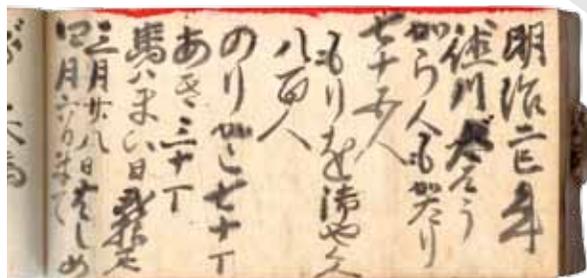
木地谷家は木材をはじめ、什器などの生産・販売を広く扱っていた。  
(木地谷惣太郎氏所蔵)



本書515頁、杉の木を江戸へ売却



本書516頁、桐木値段



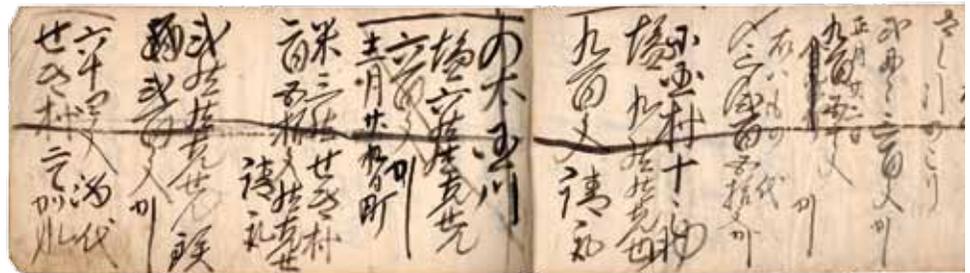
# 馬場家文書



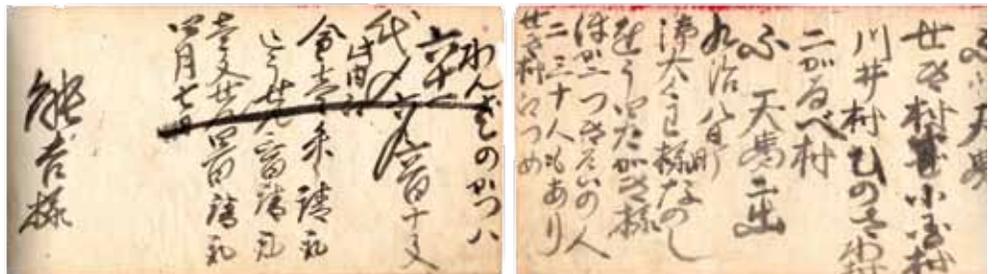
本書492頁、小国より八戸までの駄賃銭



馬場家は久慈・野田と盛岡を結ぶ交通の要所にあり、荷物の中継地や塩宿であった。  
(馬場憲也氏所蔵)



本書590頁、小国村十之助より塩代、駄賃銭の受け取り



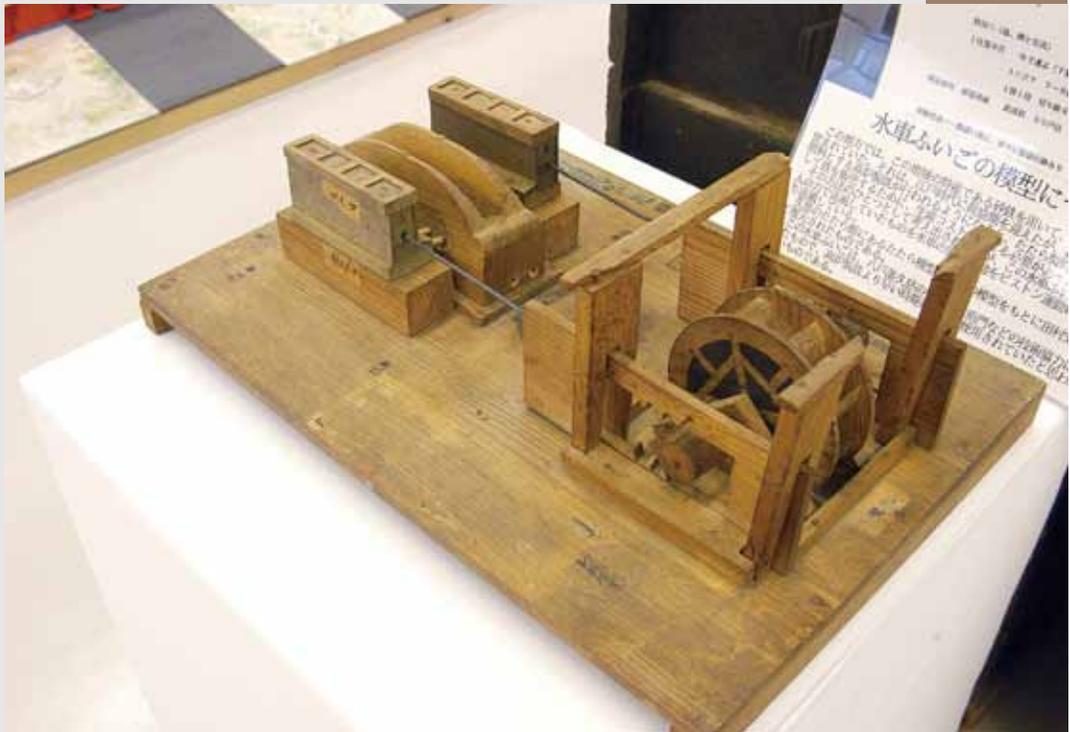
本書682頁、徳川脱走兵らが関村を通過した際の記録

# 栄えた鉄山



鉄山判形改（八戸市立図書館所蔵）

山形村にある金取鉄山の判が見られる。鉄は山形の主要産物だった。



戸呂町小学校にあった水車ふいごの模型。



贗金の枝銭・絵銭  
(落安賢吉氏所蔵)



たたら製鉄で流れ出た銑鉄  
(嵯峨力雄氏所蔵)



こうさい  
鉾澤が残っている金取鉄山跡

# 関御番所跡



関地区には御番所(関所)跡があり、地名の由来ともいわれている。

関地区にある一里塚。完全な形で一基二対現存する。



# 合戦場一里塚

# 戸呂町庚申塔



山形町戸呂町地区にある庚申塔は貞享五年(1688)に立てられ、県北最古のものといわれている。